

林業作業士になるために

大子町森林組合
菊池駿太

私は、大子清流高等学校の森林科学科を卒業して、大子町森林組合に就職しました。私は、高校に入るまで、山には余り興味がありませんでした。でも、高校での授業や実習をするにつれて、林業への興味がわいてきました。そして、森林組合の職員として、「緑の雇用研修」を受講しました。

1年目は、山での造林作業を中心とした内容で、植え付けや下刈りをして森林を造るという技術や知識を学びました。その中でも、地拵えの作業が一番大変でした。下草を刈り、「まくり」という作業をするのですが、うまく草をまとめられず何度も集め直すなど、難しい作業でした。

2年目は、林業機械の免許取得や素材生産にかかわる研修を受けました。私は、高校生の時に小型車両系の免許を取っていたので、機械の操作にはある程度自信がありました。が、

林業用の大型機械は特殊なものだったので、思うようにいかず大変でした。

3年目は、製材所や木質バイオマス発電所の見学などをおして、自分達が伐採した丸太がどのように使われ、どのような経路で流通するかを知ることが出来ました。

3年間にわたる研修期間中、大きな怪我をすることもなく、毎日安全に仕事をする事ができました。研修が修了したこれから先も、先輩方にもっといろいろな事を教わりながら林業の仕事に取り組み、安全作業に留意して活躍できる一人前の林業作業士になれるように、努力して参りたいと考えています。

